

放課後等デイサービス 北辰会いちほし

放課後等デイサービス北辰会いちほしは、法人として、障がいを持つ子供たちとその家族を対象としたカウンセリング等通じ、家庭・学習・生活を支援することを理念とし、障がいを持つ子供の療育問題や家族が抱える個別の問題解決を図り、地域福祉との推進・向上・連携に努める事を方針に掲げています。

営業時間は平日 10時から 19時 学校休業日 9時から 17時（日曜休業）
送迎は基本的に可能ですが、学区、時間により相談させていただいています。

5 領域について

放課後ガイドラインの改訂（令和 6 年）により、**【5 領域】** 全てを含めた総合的な支援を提供することが、運営基準に追加されました。

5 領域とは、①『**健康・生活**』 ②『**運動・感覚**』 ③『**認知・行動**』 ④『**言語・コミュニケーション**』 ⑤『**人間関係・社会性**』を指します。

支援プログラム

① 『健康・生活』

検温や手洗い、手指消毒等の健康管理や体調の把握に努めます。排泄や食事の日常動作でできることを増やし、身辺自立に繋がる支援に取り組みます。私物整理を通して自分の物と他者の物との区別がつけられるように支援します。洗濯・身だしなみ・入浴・調理を通じて自立した日常生活に活用できることを目指した支援の提供や補助を行います。

(例 帰りの会、調理、個別課題、地域への外出・活動、収穫体験、イベント体験等)

② 『運動・感覚』

散歩や公園遊び、体操教室、リトミック等、身体全体を使う活動により、身体のバランスや身体をコントロールする力を養い、粗大運動の発達を促します。パズルや調理器具を扱う活動等から手指の微細運動の習得を目指します。畑にでかけ、野菜収穫体験等で食育や土の感覚を意識し、川遊び等で自然や季節を感じる活動に取り組んだり、経験を増やし、感情や情緒を育むことに努めます。

(例 調理、色々な教室、集団遊び、個別課題、収穫体験、イベント体験等)

③ 『認知・行動』

挨拶やマナーがみにつけられるように努めます。工作遊びやおやつ作り、集団での活動(体操教室・英語教室・リトミック・子ども食堂)、日常動作、個別課題等を通して様々な認知機能への働きかけを行い、伸ばしていきます。また、買い物支援では、お金の数の概念の訓練の手助けをします。利用児が落ち着いた行動、適切な行動となるような支援や環境設定を行っていきます。

(例 ソーシャルトレーニング、調理、読み聞かせ、色々な教室、集団遊び、個別課題、地域への外出・活動、収穫体験、イベント体験)

④ 『言語・コミュニケーション』

日常的な挨拶、言葉かけを大切にし、言葉への理解や選び方、敬語の使い方が適切に使えるような支援を努めます。利用児一人ひとりの状態に合わせたコミュニケーション方法を工夫します。スタッフと視線を合わせる練習をしたり、具体的でわかりやすい情報提供をしたりすることにより受容コミュニケーションが高まることを目指します。

(例 帰りの会、読み聞かせ、色々な教室、集団遊び、個別課題、地域への外出・活動、イベント体験)

⑤ 『人間関係・社会性』

ごっこ遊びや集団遊びを通して他社との気持ちの良いやりとりが見につくような支援を行います。地域の公園や公共施設等へ出かけたり、リトミック教室による見立て遊びの取り入れや、子ども食堂へ参加することにより、社会でのルールやマナーの理解や就労に向けての意欲の向上が高まるような支援を行います。利用児一人ひとりの将来を見据えた社会性の高め方や感情のコントロール方法を模索します。

(例 帰りの会、読み聞かせ、色々な教室、集団遊び、個別課題、地域への外出・活動、収穫体験、イベント体験)

※活動は5領域に相互に関連・重複しており、5領域を組み合わせたイメージでの活動提供になります。